KINDAI UNIVERSITY

21 号館 経営情報処理ステーション（MIPS）利用手引き【授業支援システム】

第 1.1 版

令和 5 年 10 月 13 日

KUDOS 学生センター

目次

1. 本書の位置づけ 5

2. 授業支援システムの概要 6

3. 教卓姿図 7

4. 起動と終了 13

4.1. 起動 13

4.1.1. 画像・音声提示装置の起動 13

4.1.2. HDMI 機器の接続 13

4.1.3. Miracast 対応機器の接続（無線） 14

4.1.4. PCL+アプリケーションの起動 15

4.2. 終了 15

4.2.1. PCL+アプリケーションの終了 15

4.2.2. 画像・音声提示装置の終了 15

5. 画像・音声提示装置の各機能 16

5.1. 画像・音声提示装置の操作手順 16

5.1.1. 提示モニター画像送出 16

5.1.2. プロジェクター画像送出 16

5.1.3. 音声送出 17

5.1.4. 音量調整 17

5.1.5. 教室の統合利用 18

6. 授業支援機能の操作手順 19

6.1. 授業支援機能の画面構成 19

6.2. レイアウトウィンドウ 19

6.2.1. レイアウト モード 20

6.2.2. 一覧 モード 21

6.3. ツール ボタン 21

6.4. ステータス バー 21

6.5. メニュー 22

6.5.1. ファイル メニュー 22

6.5.2. 選択 メニュー 22
6.5.3. ツール メニュー 22
6.5.4. ヘルプ メニュー 23
6.6. 授業支援機能の各機能操作 23
6.6.1. 出席管理 23
6.6.2. PCL コントローラ 24
6.6.3. キーボードとマウスのロック 25
6.6.4. 画像受信(モニタリング) 27
6.6.5. 学習者 PC のモデル送出 30
6.6.6. 利用アプリケーションの集計 32
6.6.7. アプリケーション制限 33
6.6.8. クライアント PC の管理 36
6.6.9. 学習者の選択と解除 39
6.6.10. メニュー操作 40

制定・改訂履歴

版数	制改訂年月日	改訂内容
1.0	令和 2 年 4 月 6 日	初版
1.1	令和 5 年 10 月 13 日	部署名変更【総合情報システム】⇒【KUDOS 学生センター】

1. 本書の位置づけ

本書は、21 号館 MIPS PC 教室 授業支援システムの利用者向け 操作マニュアルです。

2. 授業支援システムの概要

授業支援システムは、以下により構成されます。

1） **画像・音声提示装置による各機能**

教卓上のリモート操作ユニットを操作することで、学習者に教材となる画像や音声を提示することができます。

「表 2-1　画像・音声提示装置による機能一覧」の各機能を利用できます。

隣接する教室(PC 教室 2 と PC 教室 3)(PC 教室 5 と PC 教室 6)では、統合利用による授業展開ができます。

2） **PCL+アプリケーションによる各機能**

教員 PC にセットアップされた PCL+アプリケーションの制御画面を操作することで、出席管理や学習者 PC の操作禁止など「表 2-2 PCL+アプリケーションによる機能一覧」の各機能を利用できます。

表 2-1　画像・音声提示装置による機能一覧

機能名称		機能詳細	操作手順
1	提示モニター画像送出	教材画像を提示モニターに送出します。	5.1.1
2	プロジェクター画像送出	教材画像を液晶プロジェクターに送出します。	5.1.2
3	音声送出	送出教材音声をスピーカーに出力します。	5.1.3
4	音量調節	教材音声の音量を調節します。	5.1.4
5	教室の統合利用	隣接する教室を統合して利用します。 (PC 教室 2 と PC 教室 3、PC 教室 5 と PC 教室 6 に限る)	5.1.5

表 2-2　PCL+アプリケーションによる機能一覧

機能名称		機能詳細	操作手順
1	出席管理	授業に出席した学習者情報を出席データとして管理・保存します。	6.6.1
2	PCL コントローラ	画像・音声提示装置の一部操作を PCL+アプリケーションから操作します。	6.6.2
3	キーボードとマウスのロック	学習者が PC を操作できないよう、キーボードとマウスをロックします。	6.6.3
4	画像受信(モニタリング)	学習者の PC 画面を取得し、学習状況を確認します。	6.6.4
5	リモート操作	学習者の PC を個別操作します。	6.6.4.5
6	モデル送出	教員またはモデル学習者の PC 画面を他の学習者の PC 画面に送出します。	6.6.5
7	利用アプリケーションの集計	学習者が利用中のアプリケーションのタイトル情報を集計表示し、学習状況を確認します。	6.6.6
8	アプリケーション制限	学習者 PC のアプリケーション利用を一時的に制限します。	6.6.7
9	クライアントの電源管理	学習者 PC のシャットダウン、再起動、ログオフ等を、一斉または個別に実行します。	6.6.8

3. 教卓姿図

教卓の機器搭載図を「図 3-1 PC 教室 1 教卓姿図」「図 3-2 PC 教室 2,PC 教室 3 教卓姿図」「図 3-3 PC 教室 4 教卓姿図」「図 3-4 PC 教室 5 教卓姿図」「図 3-5 PC 教室 6 教卓姿図」「図 3-6 PC 演習室 4 教卓姿図」に記します。

※利用上、操作の必要が無い機器については、教卓の奥側に配置しておりますので、操作しないようお願いします。

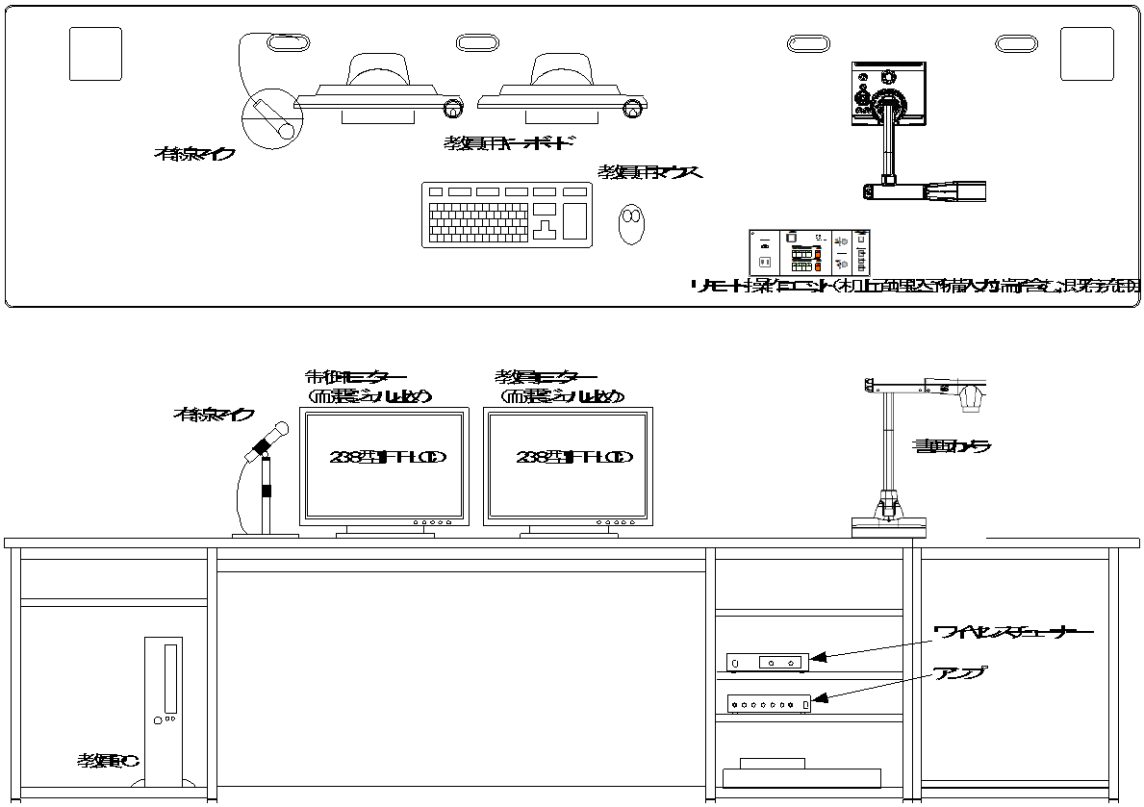


図 3-1 PC 教室 1 教卓姿図

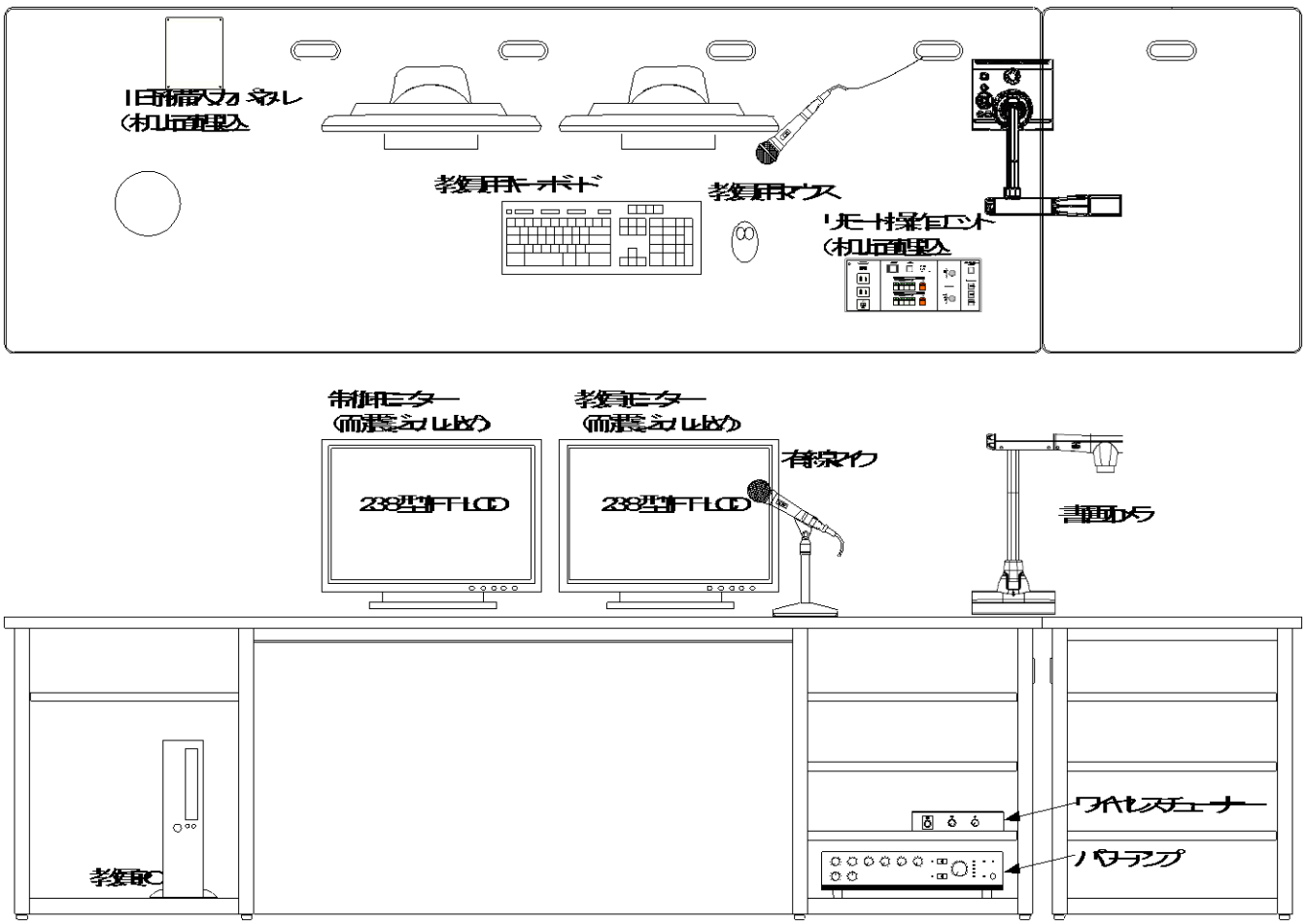


図 3-2 PC 教室 2,PC 教室 3 教卓姿図

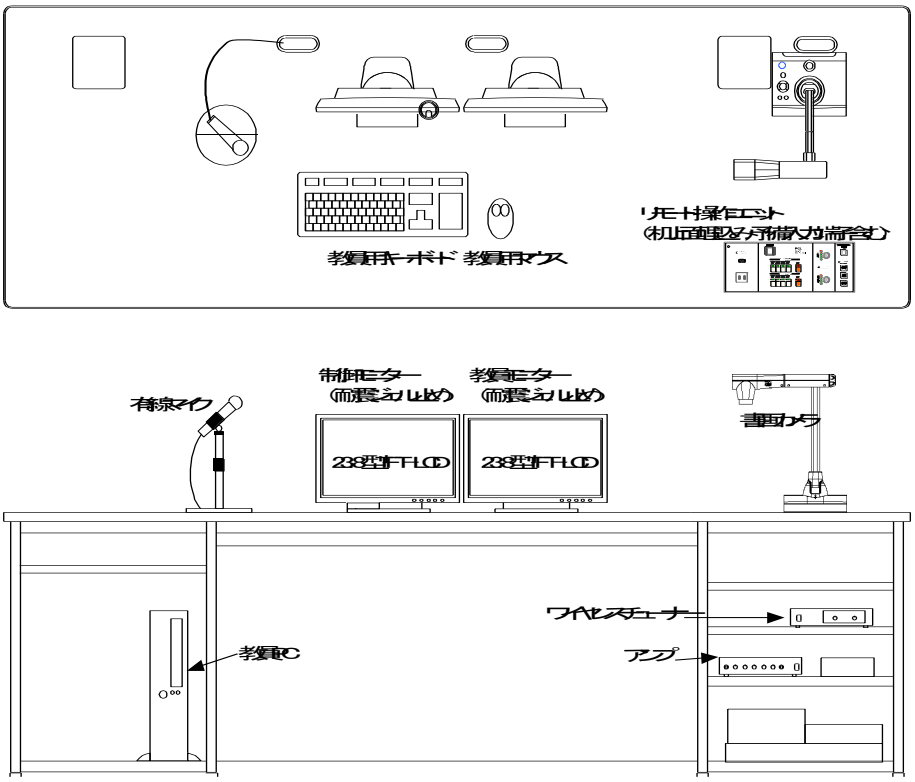


図 3-3 PC 教室 4 教卓姿図

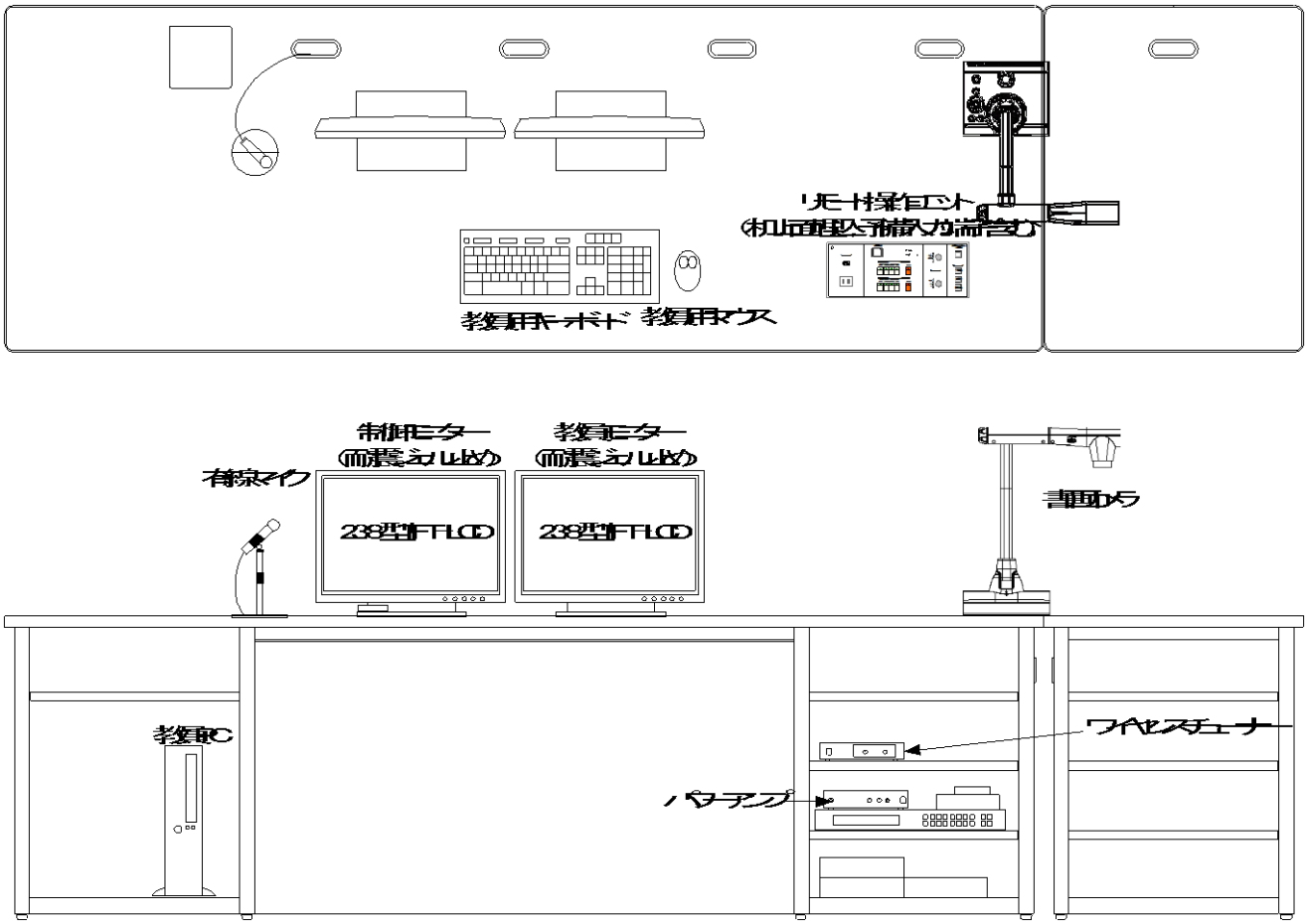


図 3-4 PC 教室 5 教卓姿図

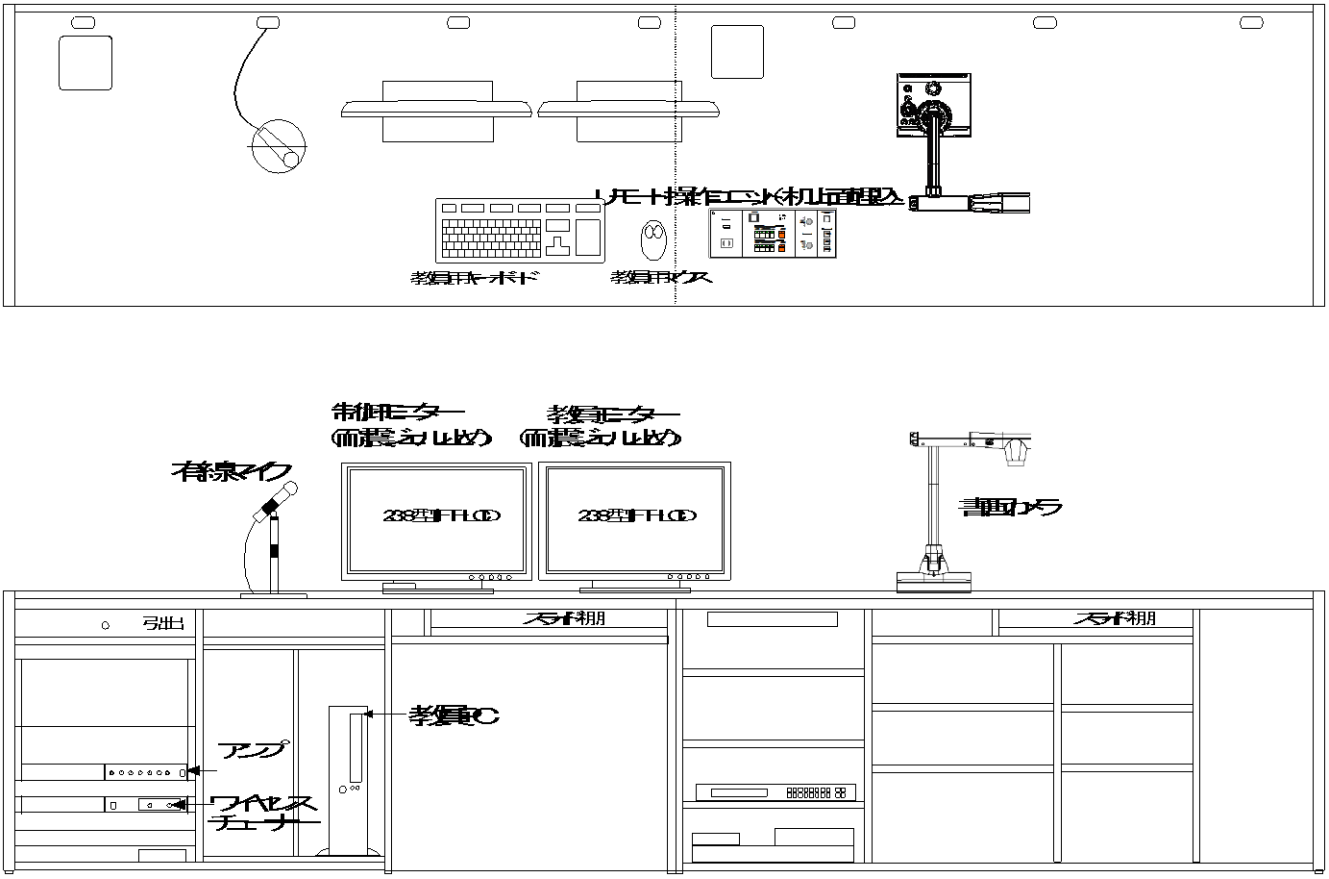


図 3-5 PC 教室 6 教卓姿図

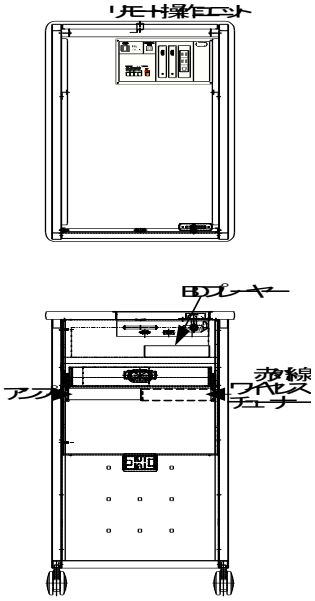


図 3-6 PC 演習室 4 教卓姿図

4. 起動と終了

授業支援システムの起動と終了の概要は以下の通りとなります。

4.1. 起動

基本的に以下の順序で起動してください。順序が逆の場合、一部機能が利用できない場合があります。

画像・音声提示装置の各機能と PCL+アプリケーションの各機能は、各々を単独で利用することも可能ですが、その場合は一部機能が制限されることがあります。

4.1.1. 画像・音声提示装置の起動

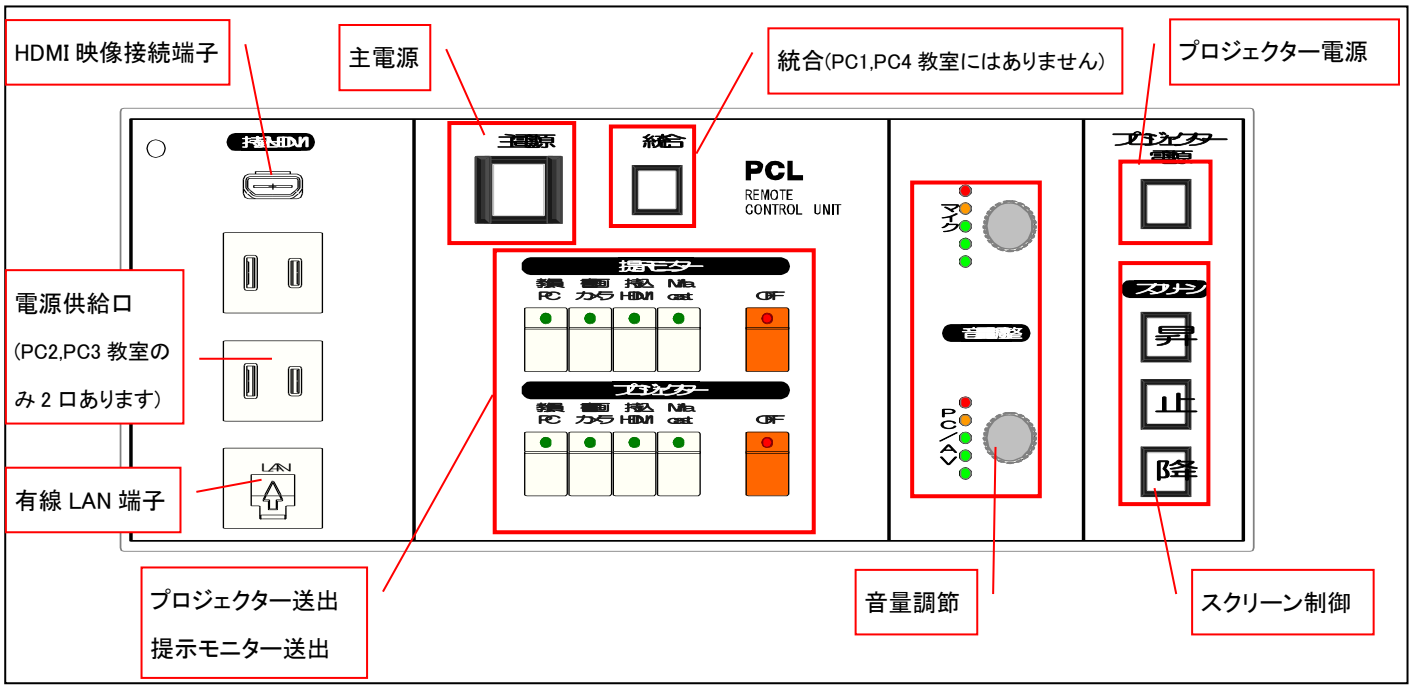


図 4-1 PC1,PC2,PC3,PC4,PC5,PC6 教室リモート操作ユニットの外観

操作	リモート操作ユニットの［主電源］ボタンを 1 秒以上押してください。 ［主電源］ボタンのランプが点灯し、教員卓機器の電源が自動投入されます。 （PC など、教員卓機器の一部の電源は自動投入されません）

4.1.2. HDMI 機器の接続

授業の中で持込機器の画像や音声を教材として利用する場合には、持込 HDMI 端子部に画像や音声機器を接続してください。

[HDMI]端子　　HDMI ケーブルを利用して画像・音声信号を入力

電源供給用の AC100V コンセント、および、有線 LAN 端子も利用可能です。

アナログ RGB 端子を搭載した PC 等は別途変換器を使用して[HDMI]端子へ接続してください。

4.1.3. Miracast 対応機器の接続（無線）

Miracast 対応機器からの画像や音声を教材として利用する場合には、各機器の無線映像送出の手順に従って接続してください。

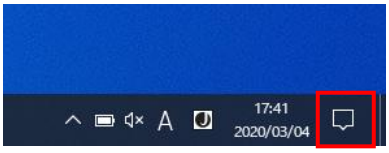
最初に（教卓側の操作）

1） リモート操作ユニットのプロジェクター電源ボタンを 1 秒程度押して電源を入れます。（既に ON の場合は 3.へ進んで下さい。）
2） プロジェクター電源ボタンが点滅から点灯に変わるまでしばらくお待ちください。
3） プロジェクターの映像選択ボタンの Miracast を押して接続待機状態を示す画面をスクリーンに表示してください。
4） 続いて、接続するお手持ちの機器側の操作です。

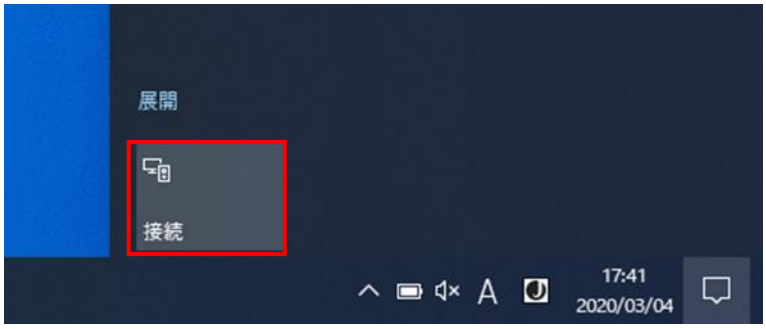
Windows10 での操作手順例

【接続手順】

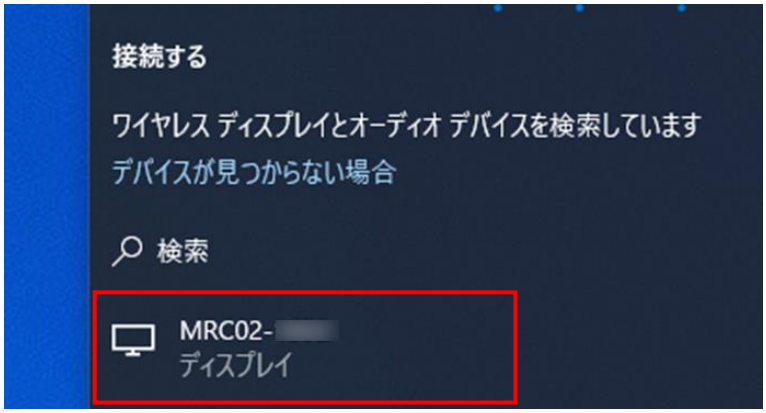
1） タスクバーの右端の「アクションセンター」のアイコンをクリックします。



2） アクションセンターが表示されるので、「接続」をクリックします。



3） 接続可能なデバイスの一覧が表示されますので、スクリーンに表示されているデバイス名をクリックします。



【切断手順】

1） 接続手順の 1)～2)までの手順を実施します。

2） 接続中のデバイスが表示されるので、「切断」をクリックします。

※ iPhone , iPad では Miracast を使った無線接続はできません。

4.1.4. PCL+アプリケーションの起動

操作 1　教員 PC にログオンしてください。

PCL+アプリケーションはスタートアップに登録されているため、ログオン処理とともに自動起動されます。

手動で起動するには、スタートメニューから [すべてのアプリ] → [TechnicalNitto] を順にポイントし、[PCL+Master] をクリックします。

授業の開始（出席管理機能の利用）

PCL+アプリケーションでは、学習者のログオン情報を出席情報として保存する機能があります。「授業の開始」と「授業の終了」操作を行うことで、遅刻や早退情報を含む出席情報を保存することができます。詳細については『6.6.1 出席管理』を参照してください。

4.2. 終了

基本的に以下の順序で終了してください。順序が逆の場合、以下内容の警告が表示されます。

4.2.1. PCL+アプリケーションの終了

操作 1　**注意 ： 出席情報を保存する場合は、この操作の前に保存操作を行ってください。**詳細については『6.6.1 出席管理』を参照してください。

ウィンドウ右上にある [閉じる] ボタンをクリックしてください。

PCL+アプリケーションが終了します。

操作 2　教員 PC をログオフしてください。

PCL+アプリケーション終了時、学習者 PC で実行される機能(モデル送出、キーボードとマウスのロック)は無効状態になります。

4.2.2. 画像・音声提示装置の終了

操作　リモート操作ユニットの [主電源] ボタンを 1 秒以上押してください。

[主電源] ボタンのランプが消灯し、起動時に自動投入された教員卓機器の電源が切れます。

5. 画像・音声提示装置の各機能

5.1. 画像・音声提示装置の操作手順

5.1.1. 提示モニター画像送出

教材画像を提示モニターに送出します。

画像・音声提示のソースとして利用可能な機器

- 教員 PC
- 書画カメラ
- 持込 HDMI 機器 （予備入力端子に接続された機器）
- Miracast(無線)送出に対応した機器

送出操作　提示モニターへの送出を行う教材ボタンを押してください。
選択された教材ボタンランプが点灯し、提示モニターに教材画像が映ります。

停止操作　提示モニターへの映像送出を停止する場合は [OFF] ボタンを押してください。
[OFF] ボタンランプが点灯し、送出を停止します。

5.1.2. プロジェクター画像送出

必要に応じて、以下の手順で利用してください。

1） 起動操作を行うことでプロジェクターが利用可能な状態となり、同時にスクリーンが降下して利用可能となります。
2） 送出する教材画像を選択します。
3） 終了操作を行うことでプロジェクターがスタンバイ状態となり、同時にスクリーンが収納されます。

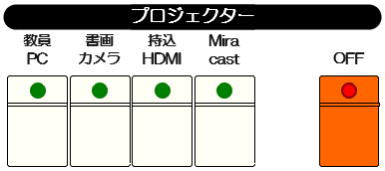
5.1.2.1. プロジェクターの起動と終了

起動操作　プロジェクター 電源 ボタンを 1 秒以上押してください。
プロジェクター 電源 ボタンのランプが点灯し、プロジェクターのウォームアップ処理が開始されます。
自動でスクリーンが降下します。
プロジェクターは、ウォームアップ処理完了後に利用可能となります。

終了操作　プロジェクター 電源 ボタンを 1 秒以上押してください。
プロジェクター 電源 ボタンのランプが消灯し、プロジェクターのクールダウン(光源ランプ冷却)処理が開始されます。
自動でスクリーンが収納されます。
プロジェクターは、クールダウン(光源ランプ冷却)処理完了後にスタンバイ状態になります。

5.1.2.2. 送出画像の選択

教材画像をプロジェクターに送出します。



画像・音声提示のソースとして利用可能な機器

- 教員 PC
- 書画カメラ
- 持込 HDMI 機器（予備入力端子に接続された機器）
- Miracast(無線)送出に対応した機器

送出操作	プロジェクターへの送出を行う教材ボタンを押してください。 選択された教材ボタンランプが点灯し、プロジェクターに教材画像が映ります。
停止操作	プロジェクターへの映像送出を停止する場合は [OFF] ボタンを押してください。 [OFF] ボタンランプが点灯し、送出を停止します。

5.1.3. 音声送出

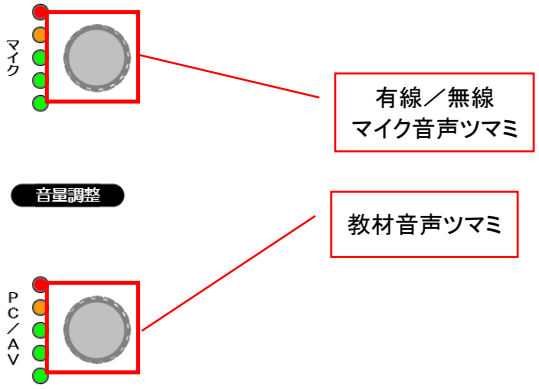
教材画像の音声を室内スピーカーに出力します。

送出操作	提示モニター、プロジェクターのいずれかの映像選択ボタンを押します。 最後に選択した映像の音声が室内スピーカーから出力されます。 ※提示モニター、プロジェクターどちらの映像選択ボタンを押しても音声が出力されますが、提示モニターかプロジェクターかどちらか一方、後で操作された方の選択ボタンに準じます。
停止操作	室内スピーカーへの出力を停止する場合は、音量調節ツマミにて音量を最小に絞る(次項で説明)か、映像選択の OFF を選択してください。

5.1.4. 音量調整

教材映像の音声、および、マイクの音量調整は卓上の「リモート操作ユニット」のツマミを操作することで音量が減/増されます。

音量については、主電源を ON した時点で最適な音量に自動的にセットされます。変更した場合は使用後、元の位置に戻してください。なお教材音声以外のつまみは操作しないでください。



5.1.5. 教室の統合利用

［統合］ボタンを操作することで、統合先の教室と統合した環境で授業を行うことができます。

統合

統合操作　［統合］ボタンを 1 秒以上押します。

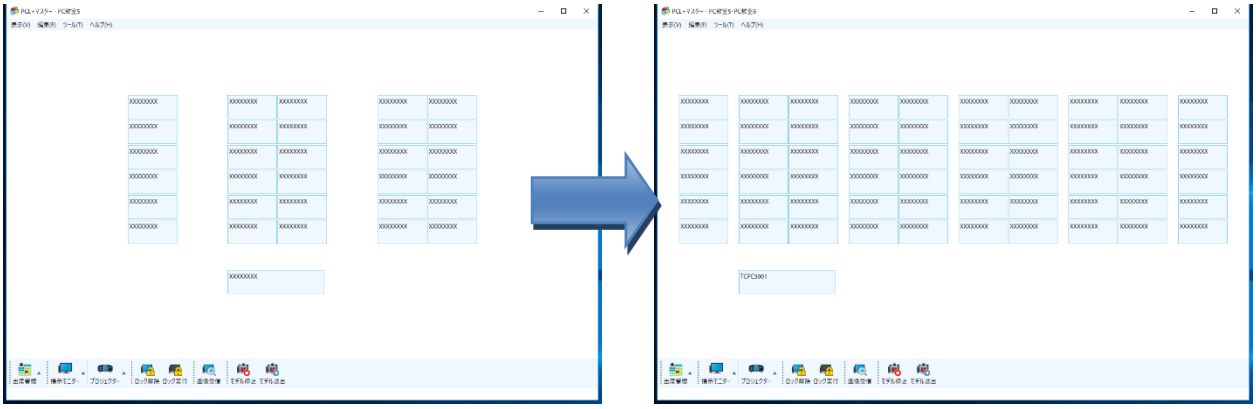
［統合］ボタンのランプが点灯し、統合先教室との統合が実行されます。
統合先教室の[主電源］ボタンのランプが緑色に点灯し、教員卓機器の電源が自動投入されます。
（PC など、教員卓機器の一部の電源は自動投入されません）

※注意
教室統合は、統合先教室が利用されていない場合のみに利用可能な仕様となりますので、統合先教室のリモート操作ユニットの主電源が ON 状態のときには［統合］ボタンを押しても反応しません。

解除操作　再度［統合］ボタンを 1 秒以上押すことで、［統合］ボタンのランプが消灯し、統合が解除されます。
統合先教室の[主電源］ボタンのランプが消灯し、自動投入された教員卓機器の電源が切れます。

教室統合機能利用時の音量調整が必要な場合は、各々の教室のリモート操作ユニットの音量調節ツマミを調整してください。

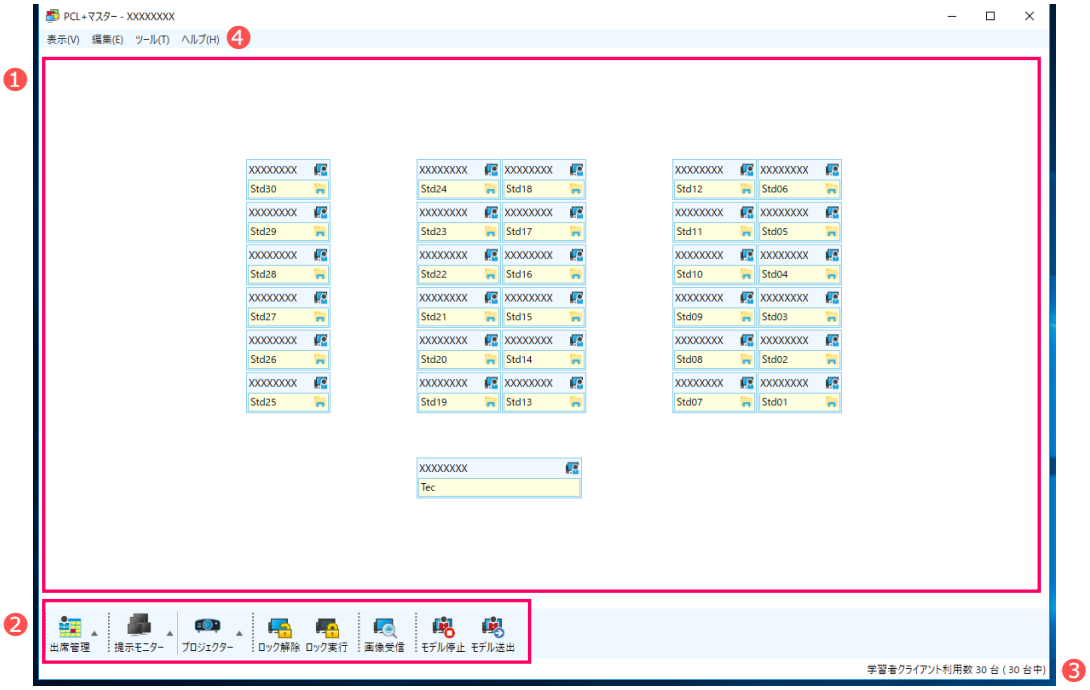
教室統合時は、教員 PC のレイアウト表示が統合された形で表示されます。



通常時のレイアウト　　統合時のレイアウト

6. 授業支援機能の操作手順

6.1. 授業支援機能の画面構成



❶ レイアウトウィンドウ
教室のレイアウトが表示されます。

❷ ツール ボタン
標準機能の機能ボタンが配置されています。

❸ ステータス バー
PC の利用状況が表示されます。

エラー! 参照元が見つかりません。
作業に必要なコマンドが操作の種類ごとにまとめられ、[表示]、[編集] などの各メニューに配置されています。メニューをクリックするとコマンド群が表示されます。

6.2. レイアウトウィンドウ

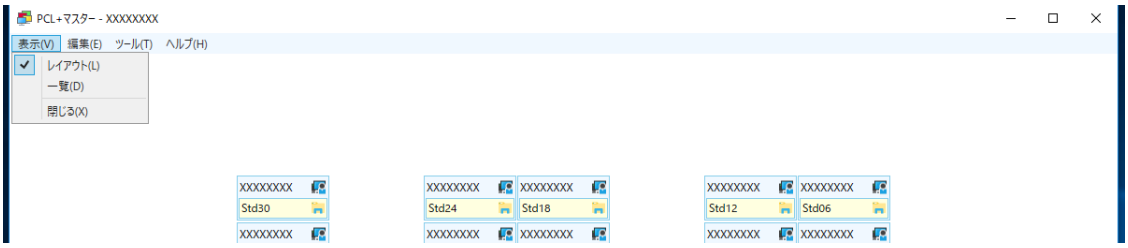
学習者 PC の利用状況が表示されます。

レイアウトウィンドウの表示形式は以下の 2 形式があり、レイアウトウィンドウにあるタブをクリックすることで切り替えます。

- 教室レイアウトに準じて表示する レイアウトモード
- 出席している学習者をリスト表示する 一覧モード

6.2.1. レイアウト モード

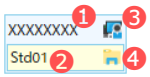
メニューの [表示] – [レイアウト] の選択により、教室レイアウトに準じて表示します。



学習者 PC 別に利用状況が表示され、教室全体の利用状況が分かります。

学習者 PC ボタンには 利用者名 が表示され、PC を利用している学習者が一目で分かります。

学習者 PC ボタンの構成



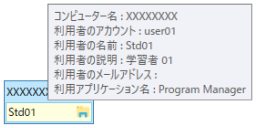
❶ PC 名
PC の名前が表示されます。

❷ 利用者名
ログオンしている利用者の名前が表示されます。
※ 利用者の名前が表示できない場合は利用者のアカウントが表示されます。

❸ ステータスアイコン
PC の状態(ロック等)アイコンが表示されます。

利用アプリケーションアイコン
利用中のアプリケーションアイコンが表示されます。

学習者 PC のツールヒント表示



学習者 PC ボタンの上にマウス ポインターを置いたままにしておくと、ツール ヒント(ポップアップ ウィンドウ) が表示され、利用者のアカウント、利用アプリケーション名などの詳細な情報が表示されます。

学習者 PC の見方

学習者 PC の状態や、各種機能の利用状態に応じて次のように表示が変わります。

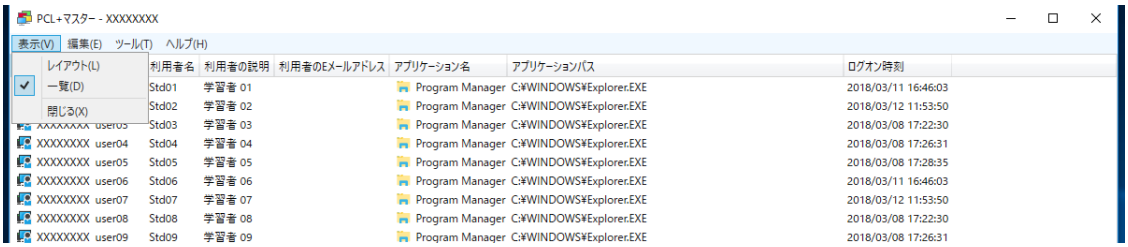
学習者 PC	説明
XXXXXXXX	稼動していない PC （電源 OFF 状態の PC）
XXXXXXXX	稼働中の PC （電源 ON 状態、あるいは、ログオフ状態の PC）
XXXXXXXX Std01	出席している学習者 利用者名が表示されます。
XXXXXXXX Std01	選択している学習者 ボタンの表面が強調表示されます。
XXXXXXXX Std01	キーボードとマウスがロックされている学習者 PC 名の横に マークが表示されます。

XXXXXXXX Std01	モデル送出している学習者 PC 名の横に マークが表示されます。
XXXXXXXX Std01	モデル送出先としてマークされている学習者 利用者名の背景が変わります。

6.2.2. 一覧 モード

メニューの [表示] – [一覧] の選択により、出席している学習者をリスト形式で表示します。

利用者の情報、利用アプリケーションの情報、ログオン時刻などの詳細な情報が表示されます。



6.3. ツール ボタン

PCL+アプリケーションで主に利用する機能実行ボタンが表示されます。

❶ 出席管理

授業に出席した学習者を管理します。

❷ PCL コントローラ

画像・音声提示装置との画像・音声送出連携を行います。

❸ キーボードとマウス ロック

学習者のキーボードとマウスを一斉にロックします。

画像受信(モニタリング)

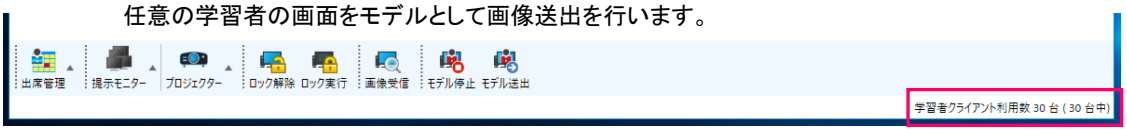
学習者の画面を確認します。

6.4. ステータス バー

ログオンしている PC の利用数が表示されます。

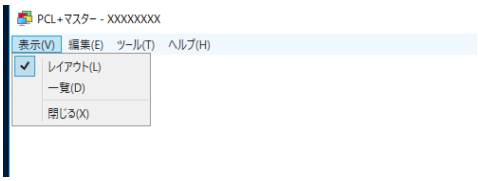
モデル送出

任意の学習者の画面をモデルとして画像送出を行います。



6.5. メニュー

6.5.1. ファイル メニュー



レイアウト

教室レイアウトに準じて表示します。

一覧

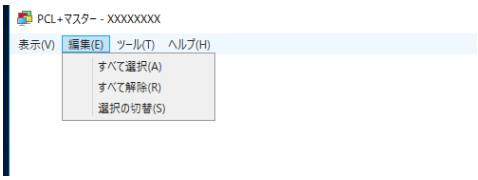
出席している学習者をリスト形式で表示します。

閉じる

PCL+ マスターアプリケーションのウィンドウを閉じます。

6.5.2. 選択 メニュー

学習者の選択や選択の解除操作を行います。



すべて選択

すべての学習者を選択状態にします。

すべて解除

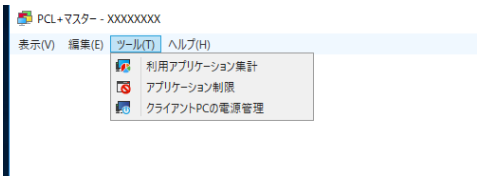
すべての学習者の選択を解除します。

選択の切替

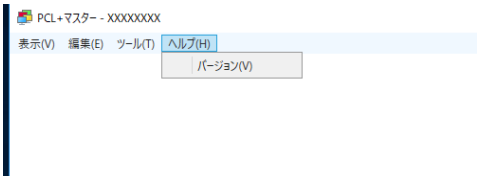
選択状態を切り替えます。選択状態にある学習者は選択が解除され、選択されていない学習者が選択状態になります。

6.5.3. ツール メニュー

利用可能なツールメニューが表示され、クリックすることで実行できます。



6.5.4. ヘルプ メニュー



PCL+のバージョン情報

PCL+のバージョン情報を表示します。

6.6. 授業支援機能の各機能操作

6.6.1. 出席管理

授業に出席した学習者情報を出席データとして保存します。

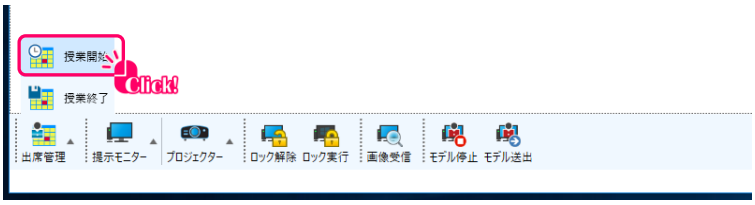
6.6.1.1. 出席管理

授業の開始/終了操作を行うことで、遅刻・早退情報を含んだ出席を取ることができます。

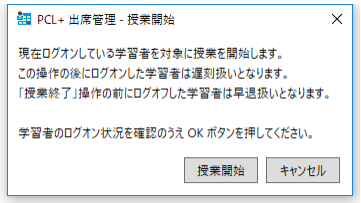
(a) 授業の開始

授業の開始を行い、この操作以降のログオン者を遅刻扱いにします。授業の開始時の任意のタイミングで操作してください。

1） ［出席管理］ボタンをクリックし、表示されるメニューから［授業の開始］をクリックします。



確認ダイアログボックスが表示されます。



2） ［OK］ボタンをクリックし、授業を開始します。

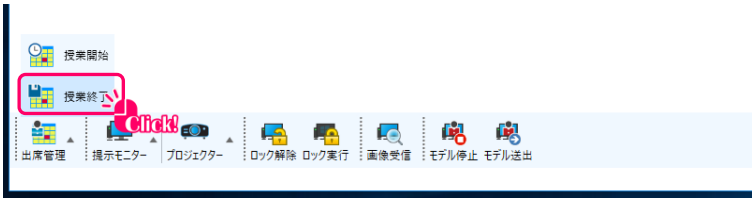
以降にログオンした学習者を遅刻者として記録します。

(b) 授業の終了

授業の終了を行い、出席データを保存します。

[授業の終了] 操作より前に学習者がログオフした場合、早退扱いになります。学習者には先にログオフしないように指示をしておいてください。

1） [出席管理] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [授業の終了] をクリックします。



データ保存ダイアログボックスが表示されます。

2） 出席データを保存する場所を指定し、[保存] をクリックします。

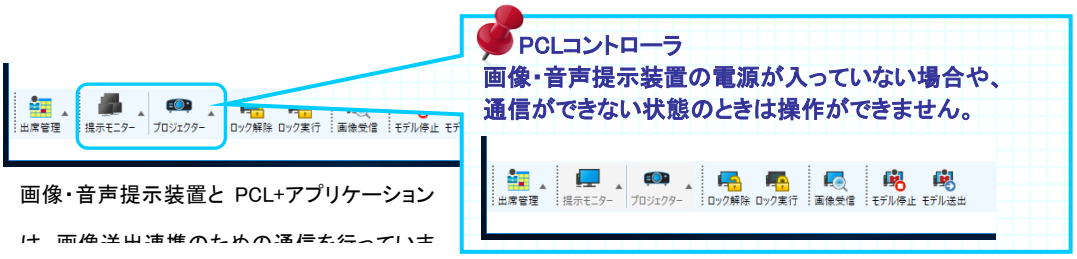
出席情報が CSV 形式で保存されます。

既定では、[z:¥]フォルダーが開かれます。

[ファイル名] ボックスには、保存日時がファイル名としてあらかじめ入力されています。

6.6.2. PCL コントローラ

画像・音声提示装置の『送出』を操作します。



画像・音声提示装置と PCL+アプリケーション

6.6.2.1. 送出

教材画像を提示モニターあるいはプロジェクターに送出します。

1） [提示モニター/プロジェクター] ボタンをクリックし、表示されるメニューから送出を行う [教材] をクリックします。

[提示モニター/プロジェクター] ボタンアイコンが 送出する教材のアイコンに変り、提示モニターあるいはプロジェクターに教材画像が映ります。

送出を停止する場合はメニューから [送出停止] をクリックします。

6.6.3. キーボードとマウスのロック

学習者が PC を操作できないよう、キーボード・マウスをロックします。

ロックには、ログオンしている学習者を一斉にロックする方法と、任意の学習者を個別にロックする方法の 2 種類があります。

6.6.3.1. 一斉ロック

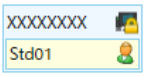
キーボードとマウスのロックを行うと同時に学習者モニターの画面を半透明の黒色でマスクします。

1） ［ロック実行］ボタンをクリックします。

稼働中の学習者 PC のキーボードとマウスがロックされます。

既定では、ロックと共に学習者 PC の画面が半透明の黒色でマスクされます。

レイアウトには、ロック状態を表すアイコン(下図参照)が表示されます。



PC 名の横に マークが表示されます。

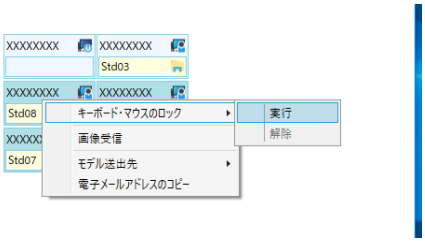
ロックを解除するには、［ロック解除］ボタンをクリックします。

ロックされていた学習者 PC のキーボードとマウス、および、ブラックアウトが解除されます。

6.6.3.2. 個別ロック

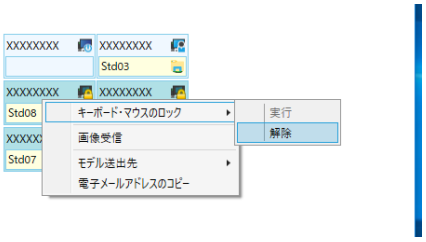
学習者 PC の操作禁止を個別に行います。

1） レイアウト画面上で、ロックする学習者を選択して右クリックし、表示されるメニューから[キーボード・マウスのロック] → [実行] をクリックします。（複数の学習者を選択するには、Ctrl キーを押しながら学習者をクリックします。）



選択した学習者 PC のキーボード・マウスがロックされます。

個別にロックを解除するには、ロック中の学習者を選択して右クリックし、表示されるメニューから [キーボード・マウスのロック] → [解除] をクリックします。



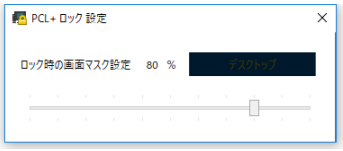
ロックされていた学習者 PC のキーボード・マウスが解除されます。

6.6.3.3. ロックの設定

ロック時の学習者 PC のマスクの透明度を設定します。

1） [ロック実行] ボタンを右クリックし、表示されるメニューから [ロックの設定] をクリックします。

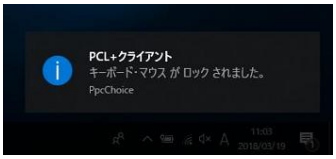
ロック設定画面が表示されます。



2） スライドバーを左右に動かしてマスクの透明度を指定し、画面を閉じます。

6.6.3.4. キーボードとマウスのロック時のメッセージについて

学習者 PC の操作が禁止の時、学習者側にキーボード・マウスが ロック されたことを通知します。



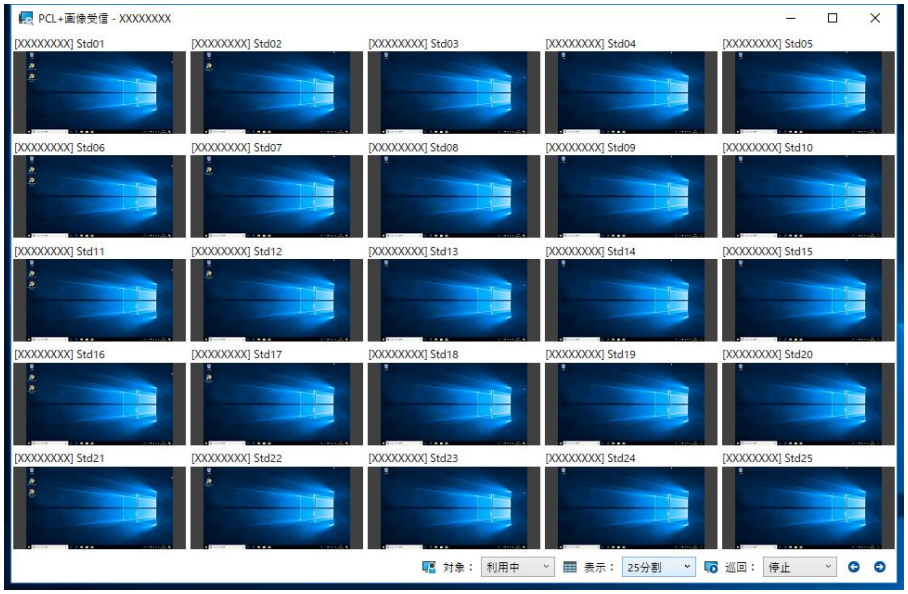
6.6.4. 画像受信(モニタリング)

学習者 PC の画面を取得し、学習状況の確認ができます。

1） ［画像受信］ボタンをクリックします。

モニタリングウィンドウ が表示されます。

利用中の人数に合わせて分割表示されます。

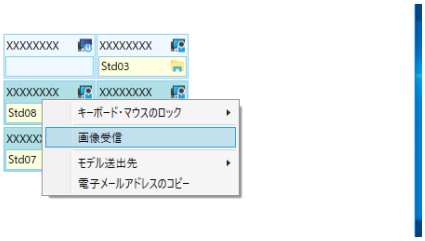


モニタリングウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある ×（閉じる）ボタンをクリックします。

6.6.4.1. 個別受信

任意の学習者 PC の画面を取得し表示を行います。

1） レイアウト画面上で、画像を受信する学習者を選択して右クリックし、表示されるメニューから[画像受信]をクリックします。（複数の学習者を選択するには、Ctrl キーを押しながら学習者をクリックします。）



モニタリングウィンドウに選択した学習者の画面が表示されます。

6.6.4.2. モニタリングウィンドウのツールボタン

学習者の PC 画面を切り替えたり、分割数を変更したりします。

6.6.4.3. モニタリングウィンドウの操作

(a) 他の学習者をモニタリングする

現在表示されていない学習者の画面に切り替えます。

1） [←] ボタン、または、[→] をクリックします。

次の画面、または、前の画面に表示が切り替わります。

(b) 画面分割数を変更する

1） 「画面」メニューをクリックし、表示されるメニューから分割数をクリックします。

選択された分割数で学習者 PC の画面を表示します。

※モニタリング対象者数の範囲外となるメニューは表示されません。

(c) モニタリング対象者を変更する

1） 「モニタリング対象」メニューをクリックし、表示されるメニューからモニタリングする対象者を選びます。

モニタリング対象となる学習者を対象に再表示されます。

モニタリング対象者の設定で、「稼動中」あるいは「選択」を選択した場合に、モニタリング対象者となるクライアントの電源が入っていない場合は、何も表示されません。

(d) 自動巡回を行う

学習者を一定間隔で巡回し、画面を表示します。

1） 「巡回」メニューをクリックし、表示されるメニューから巡回の間隔をクリックします。

指定された秒間隔で順方向に学習者 PC 画面を表示します。

間隔は、1 人の学習者をモニタ(表示)する時間設定となります。

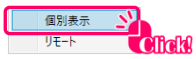
巡回中に [←] ボタンをクリックすると逆方向に巡回します。順方向に巡回するには [→] ボタンをクリックします。

巡回を終了するには、「巡回」メニューをクリックし、表示されるメニューから[停止]をクリックします。

6.6.4.4. 個別表示する

任意の学習者の画面を別のウィンドウで表示します。

1） モニタリングウィンドウ内で右クリックし、表示されるメニューから [個別表示] をクリックします。



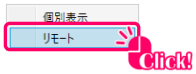
新しいウィンドウが表示され、学習者の画面が表示されます。

個別表示を終了するには、ウィンドウを閉じます。

6.6.4.5. リモート操作

学習者の個別操作が必要な場合に、リモート操作を行います。リモート操作は、モニタリング操作『6.6.4 画像受信(モニタリング』を行ってからの操作となります。

1） モニタリングウィンドウ内で右クリックし、表示されるメニューから [リモート操作] をクリックします。



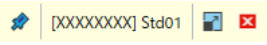
学習者の画面が全画面で表示されます。

2） 教員 PC のキーボードとマウスを利用して、学習者 PC をリモート操作します。

リモート操作開始時、学習者のキーボードとマウス、および、教員のキーボードとマウスは互いに操作可能な状態になっています。学習者の操作を禁止させたい場合は、リモート操作ツールバーの [🔒(ロック)] ボタンをクリックします。

リモート操作を終了するには、リモート操作ツールバーの [✕(閉じる)] ボタンをクリックします。

6.6.4.6. 個別表示/リモート操作用ツールバー

個別表示用： 

リモート操作用：

アイコン	説明	アイコン	説明
	ツールバーの表示を ON/OFF します。		フルスクリーン表示の切り替えを行います。
	学習者側の操作をロックします。		ウィンドウを閉じます。
	Ctrl + Alt + Delete キーを送信します。		

6.6.5. 学習者 PC のモデル送出

学習者の PC 画面を他の学習者に送出します。

モデル送出には、ログオンしている学習者に一斉に送出する方法と、任意の学習者に送出する方法の 2 種類があります。

6.6.5.1. 一斉送出

モデル学習者の PC 画面を他の学習者に送出します。

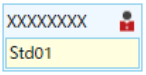
1） レイアウト画面上でモデルとする学習者を選択します。

教員の PC 画面をモデル送出する場合は、[教員 PC] ボタンを選択します。

2） [モデル送出] ボタンをクリックします。

選択されたモデル PC 画面が学習者モニターに表示されます。

レイアウトには、モデル送出者の状態を表すアイコン(下図参照)が表示されます。



PC 名の横に マークが表示されます。

モデル送出を止めるには、[モデル停止] ボタンをクリックします。(PC 教室 2、PC 教室 3 は [送出停止] ボタンをクリックします。)

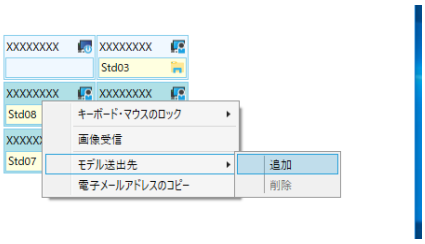
6.6.5.2. 任意の学習者へ送出

学習者の PC 画面を任意の学習者に送出します。

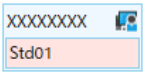
1） レイアウト画面上で任意の学習者を選択し、右クリックします。

2） 表示されるメニューから [モデル送出先] → [追加] をクリックします。

送出先のマーク付けを解除するには [解除] をクリックします。



選択されている学習者がモデル画面の送出先としてマーキング(下図参照)されます。



利用者名の背景が変わります。

3） レイアウト画面上でモデルとする学習者を選択し、[モデル送出] ボタンをクリックします。

選択されたモデル学習者の画面が、マーク付けされている学習者のモニターに表示されます。

6.6.5.3. モデル送出の設定

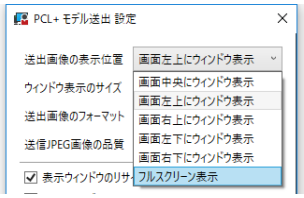
送出画像の表示位置(フルスクリーン表示/ウィンドウ表示)や、ウィンドウ表示の詳細設定をします。

1） [モデル送出] ボタンを右クリックし、表示されるメニューから [モデルの設定] をクリックします。

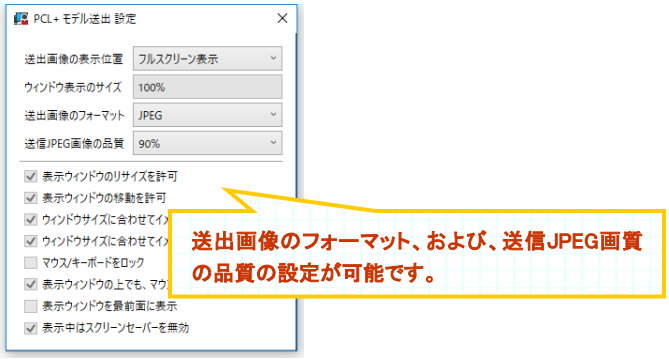
モデル送出設定画面が表示されます。

(a) フルスクリーンで表示する場合

1） 送出画像の表示位置メニューから「フルスクリーン」を選択します。

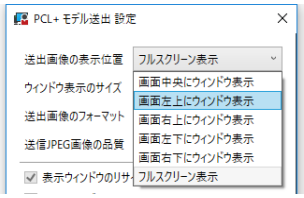


2） オプションを指定し、画面を閉じます。

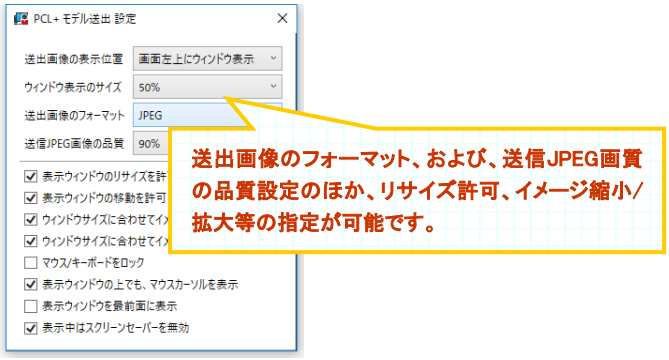


(b) ウィンドウで表示する場合

1） 送出画像の表示位置メニューをクリックし、表示されるメニューから目的のモードを選択します。



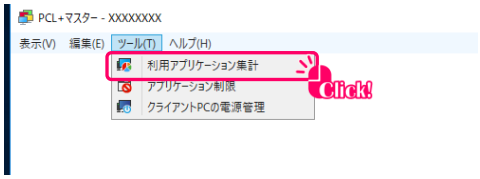
2） オプションを指定します。



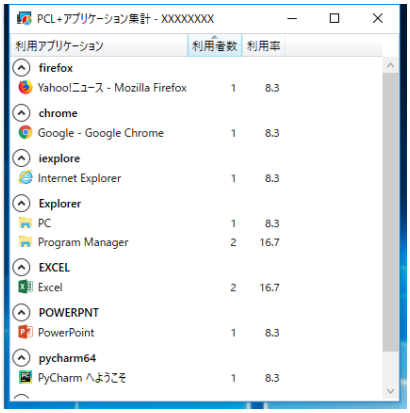
6.6.6. 利用アプリケーションの集計

利用アプリケーションの集計により、学習者の作業状況を確認します。

1） メニューの [ツール] から [利用アプリケーションの集計] をクリックします。



利用アプリケーションの集計ウィンドウが表示されます。



学習者が利用中のアプリケーションを集計し、一覧で表示します。

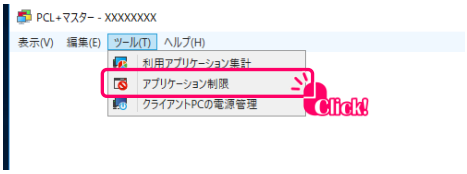
利用アプリケーションウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある ×（閉じる）ボタンをクリックします。

6.6.7. アプリケーション制限

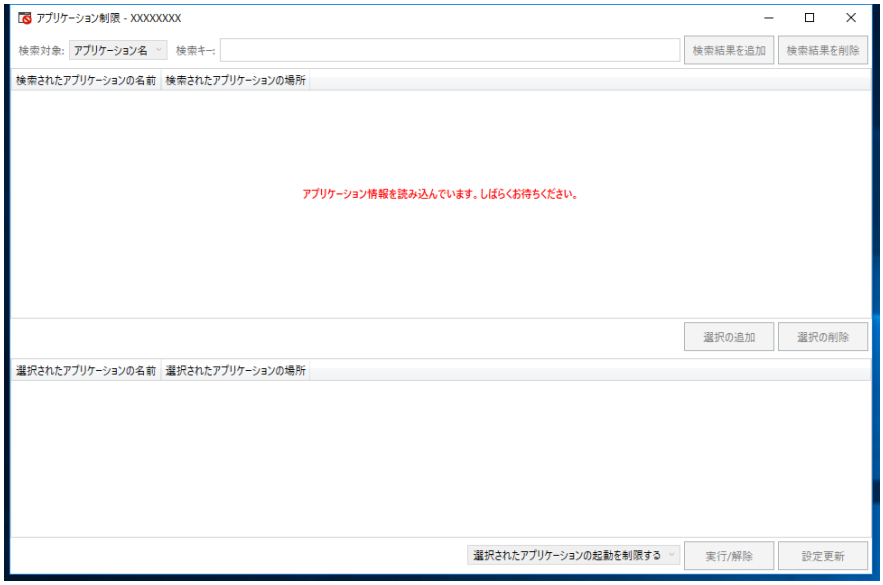
学習者 PC のアプリケーションの利用を制限します。

※ PCL+アプリケーションの終了時、および、アプリケーション制限ウィンドウ を閉じたときに、この制限は解除されます。

1） メニューの [ツール] から [アプリケーション制限] をクリックします。



アプリケーション制限ウィンドウが表示されます。



アプリケーションの制限 ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある ×（閉じる）ボタンをクリックします。

6.6.7.1. 利用制限の設定について

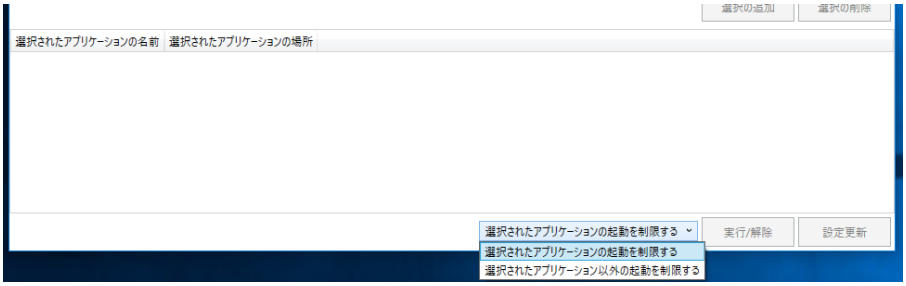
利用の制限を実施中に制限の設定を更新した場合は、[設定更新]ボタンをクリックすることにより反映されます。

6.6.7.2. アプリケーションの利用を制限する

(a) 制限の設定

アプリケーションの制限には、選択されたアプリケーションの起動を制限する方法と、選択されたアプリケーション以外の起動を制限する方法の 2 種類があります。

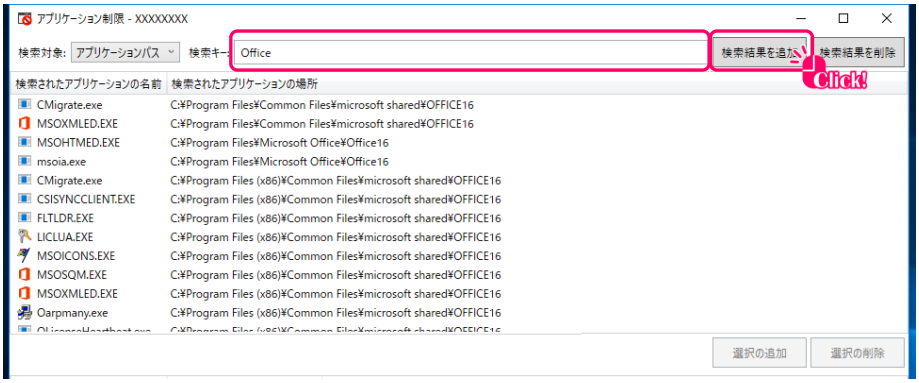
制限の設定リストをクリックし、表示されるメニューから目的のメニューをクリックします。



(b) 検索を利用する

1） 検索キー欄にキーワードを入力し、[検索結果の追加] ボタンをクリックします。

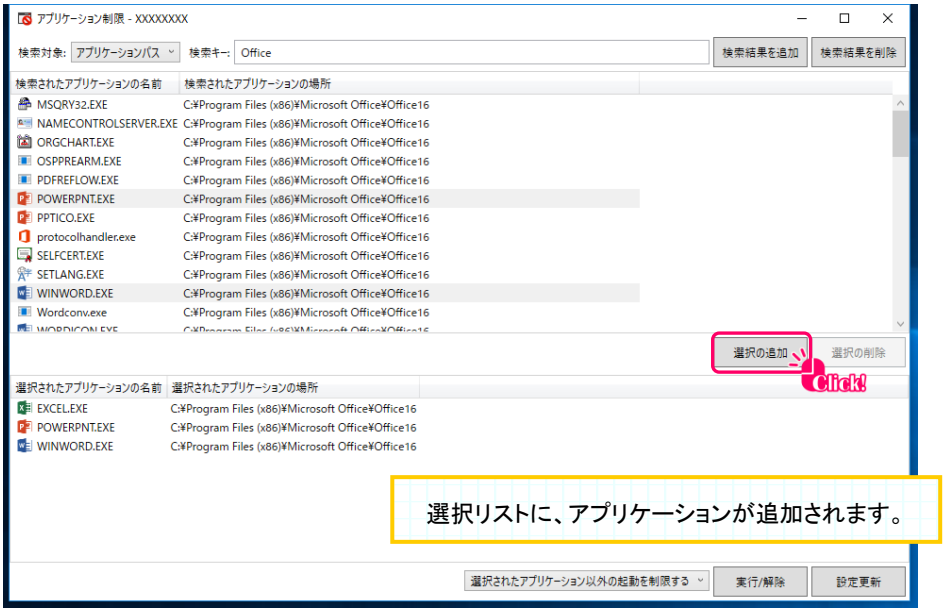
入力した検索キーワードに該当したアプリケーションがリストに表示されます。



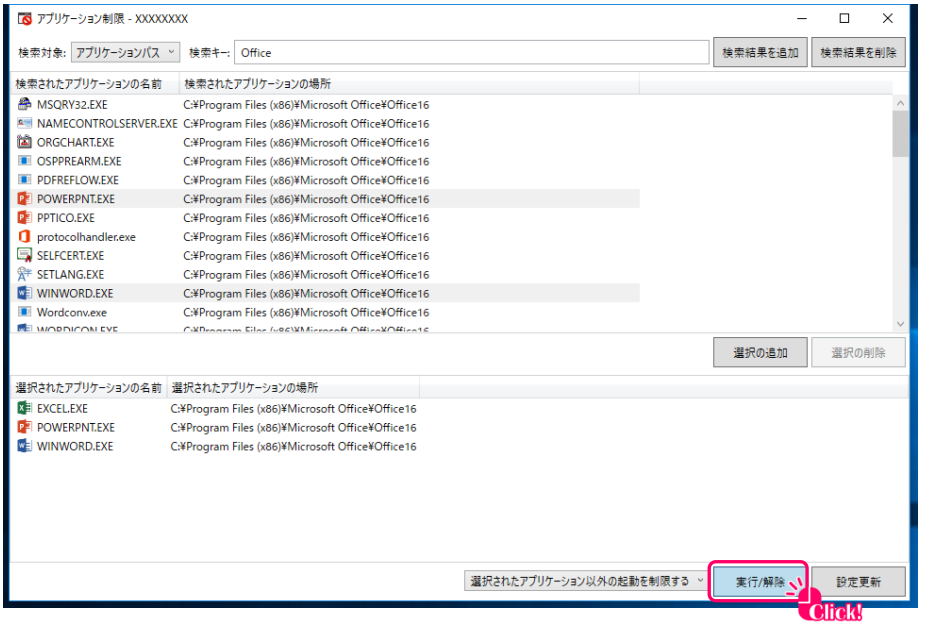
検索キーワードに該当したアプリケーションを一覧から削除する場合は、[検索結果を削除]ボタンをクリックします。

リストを右クリックすると、右図のメニューが表示され、削除を行うことができます。

2） リストからアプリケーションを選択し、[選択の追加] をクリックします。



3） [実行/解除]ボタンをクリックします。



学習者 PC のアプリケーションの利用を一時的に制限します。

アプリケーションの制限を解除するには、もう一度 [実行/解除] ボタンをクリックします。

6.6.7.3. アプリケーション制限について

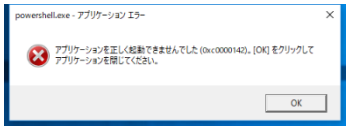
一部のアプリケーションでは、異なる名称のアプリケーションを選択することで制限が有効になるものや、いくつかのアプリケーションを選択する必要がある場合があります。また制限が有効にならないアプリケーションもあります。

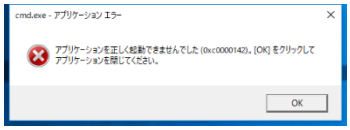
6.6.7.4. 制限時や制限解除後にアプリケーションを起動した際にメッセージが表示される場合があります。

教員が学習者 PC のアプリケーションの利用制限を実施している場合に、利用を許可されていないアプリケーションを起動すると、起動されるアプリケーションによってメッセージが表示される場合があります。

メッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認し、適切なボタンをクリックしてメッセージを閉じます。

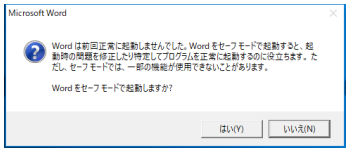
(a) PowerShell/コマンドプロンプト





(b) Microsoft Office シリーズ

バージョンによって、次のメッセージが表示されます。

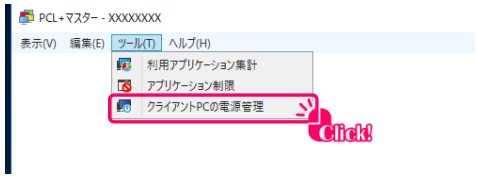


6.6.8. クライアント PC の管理

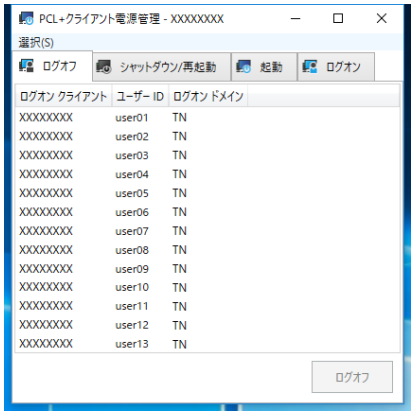
学習者 PC の終了や起動を行います。

[クライアント PC の管理]機能で利用する各機能は、シャットダウン直後の起動命令や起動直後のログオン命令など、学習者 PC 状態により実行できない場合があります。実行できなかった場合には再度操作を実行してください。

1） メニューの [ツール] から [クライアント PC の管理] をクリックします。



クライアント電源管理 ウィンドウが表示されます。

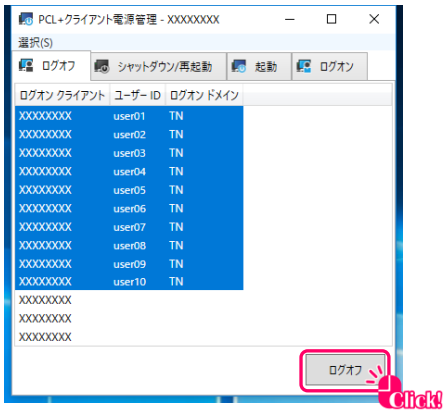


クライアント電源管理 ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある ×（閉じる）ボタンをクリックします。

6.6.8.1. 利用 PC のログオフ

1） 「ログオフ」タブを開き、リストからログオフを実行するクライアント PC を選択します。

2） 「ログオフ」ボタンをクリックします。



強制終了オプション

[Ctrl キー]を押しながら「ログオフ」ボタンをクリックします。

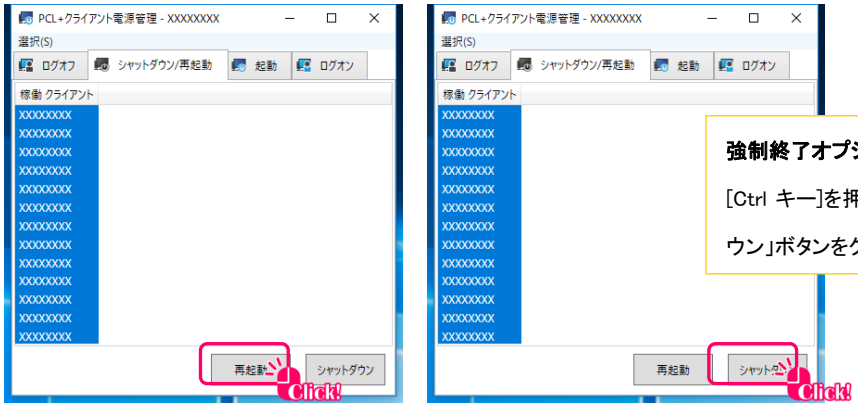
選択された PC でログオフ処理が実行されます。

編集中のファイルなどがある場合やコンピューターのロック中は、ファイル保護のため、正常に終了ができません。

6.6.8.2. PC の再起動/シャットダウン

1） 「再起動/シャットダウン」タブを開き、リストから再起動、あるいはシャットダウンを実行するクライアント PC を選択します。

2） 「再起動」あるいは「シャットダウン」ボタンをクリックします。



強制終了オプション

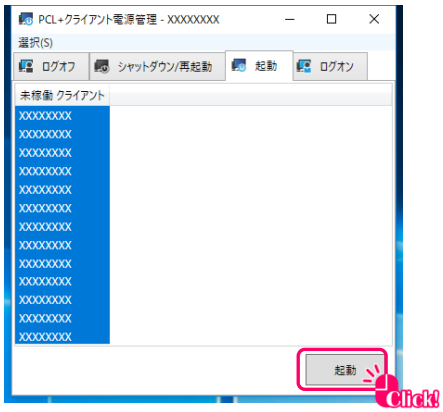
[Ctrl キー]を押しながら「再起動」あるいは「シャットダウン」ボタンをクリックします。

選択された PC で再起動、あるいはシャットダウン処理が実行されます。

編集中のファイルなどがある場合やコンピューターのロック中は、ファイル保護のため、正常に終了ができません。

6.6.8.3. クライアント PC の起動

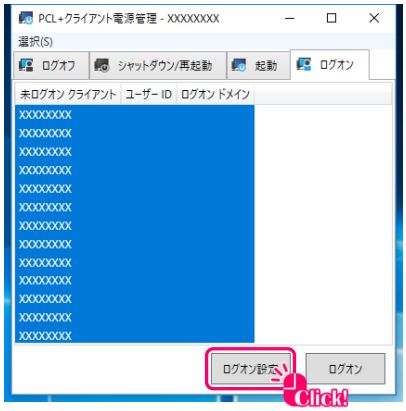
1） リストからクライアント PC を選択し、「起動」ボタンをクリックします。



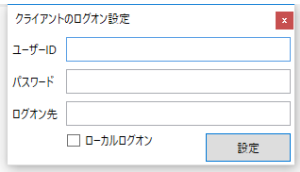
選択された PC の電源が投入されます。

6.6.8.4. クライアント PC のリモートログオン

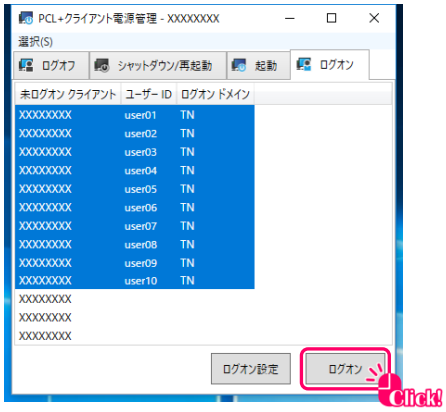
1） リストからクライアント PC を選択し、「ログオン設定」ボタンをクリックします。



2） クライアントのログオン設定ウィンドウが表示されます。アカウント情報を入力し、「設定」ボタンをクリックします。



3） 「ログオン実行」ボタンをクリックします。



リモートログオンが実行されます。

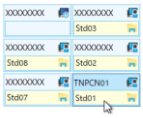
6.6.9. 学習者の選択と解除

状況に応じて学習者を選択したり、選択を解除したりします。操作は、レイアウトウィンドウを操作する方法とメニューから操作する方法の 2 種類があります。

6.6.9.1. レイアウトウィンドウ操作

(a) 任意の学習者を指定して選択する

1） レイアウトウィンドウ内の任意の学習者をクリックします。

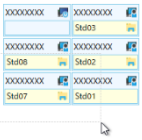


複数の学習者を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら学習者をクリックします。
選択状態にある学習者をクリックした場合は、選択が解除されます。
選択範囲から 1 つ以上の項目を除外する場合は、Ctrl キーを押しながら対象の学習者をクリックします。

学習者が選択されます。

(b) 範囲指定した学習者を選択する

1） レイアウトウィンドウ内の学習者を、マウスでドラッグして範囲指定します。



マウス ポインターを選択対象の項目の外側を囲むようにドラッグして、選択範囲を指定します。

矩形に含まれた学習者が選択されます。

(c) すべて解除する

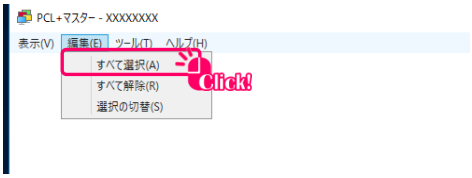
1） レイアウトウィンドウ内の 背景 をクリックします。

選択が解除されます。

6.6.10. メニュー操作

(a) すべて選択する

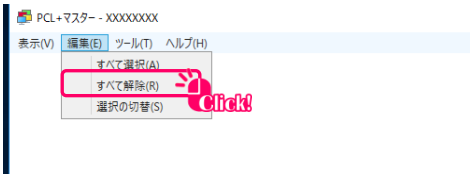
1） ［選択］メニューをクリックし、［すべて選択］をクリックします。



すべての学習者を選択状態にします。

(b) すべて解除する

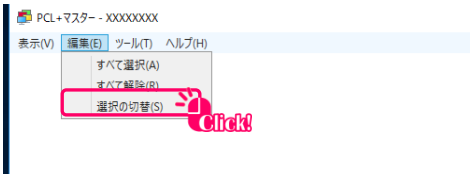
1） ［選択］メニューをクリックし、［すべて解除］をクリックします。



すべての学習者の選択を解除します。

(c) 選択を切り替える

1） ［選択］メニューをクリックし、［選択の切替］をクリックします。



学習者の選択を切り替えます。